

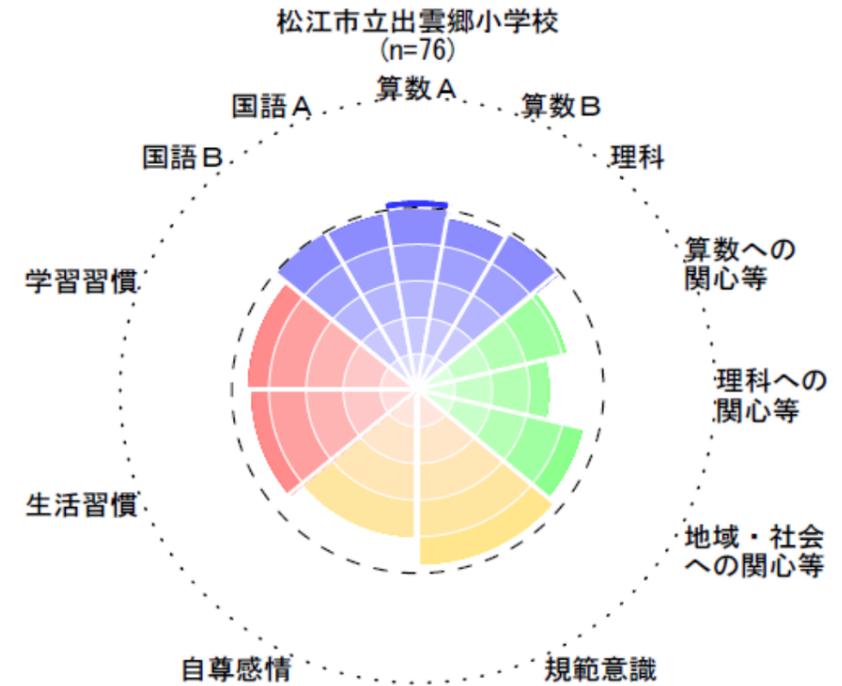
# 平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立出雲郷小学校）

平成30年9月25日

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
国語	A (基礎)	○相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことが十分にできている。 ●登場人物の心情について、情景描写を基に捉えることが不十分である。	・物語文の学習において、登場人物の人物像や気持ちの変化を、複数の叙述をもとに考えていくような指導方法を工夫するとともに、読書指導を充実させる。 ・日記や感想といった書く場面において、既習の漢字を適切に使えるよう指導していく。
	B (活用)	○話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができている。 ●事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることが不十分である。	・「話す・聞く」領域の学習を中心とした音声表現の場면을充実させ、話者と聴者の育成を図る。 ・文章や資料などから分かったことや自分の考えを整理してまとめる活動を充実させていく。
算数	A (基礎)	○「量と測定」領域の基礎知識は身につけている。 ●小数の除法の意味理解や数量関係を正しく数直線で表すことが不十分である。	・計算ドリル等の基礎学習を繰り返し行うとともに、毎月の「全校計算会」により定着の度合いを把握しながら指導を継続する。 ・算数的要素と日常生活の関連を意識させるなど、意味理解につながる指導方法を工夫する。
	B (活用)	○示された考え方を参考に、数学的に表現することができる。 ●示された方法を解釈・適用し、条件に合う事柄について適切に判断したり、複数の情報を関連付けて論理的に考察し、数学的に表現したりすることが不十分である。	・考え方の道筋を示すなど、児童の理解を促す指導方法を工夫する。 ・自分の考えを式や図、文章を使って表し、それを説明し合う学習を大切にしている。
理科		○「物質」領域が全国平均値を上回っている。 ●実験の予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想することが十分ではない。	・既習の内容や生活経験をもとにした根拠のある予想や仮説を立て、行おうとする実験方法が検証可能かどうかを検討し、表現する活動を充実させる。 ・実験結果について、「事実」と「解釈」を適切に表現する活動を大切にする。

(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



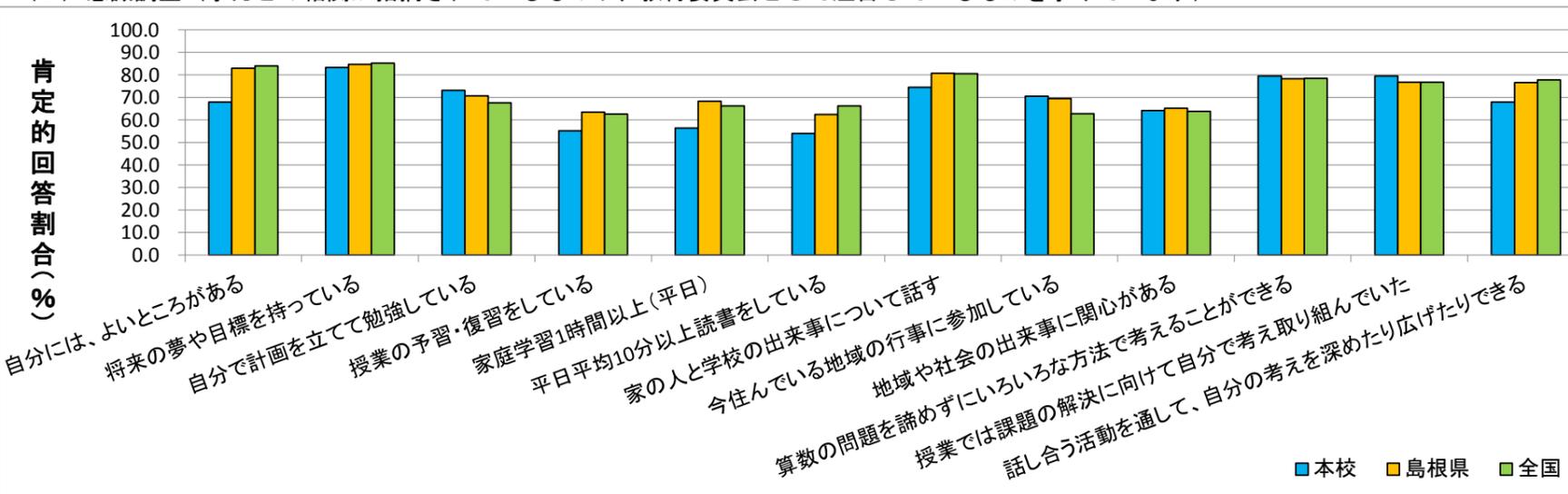
(2) 生活意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
		○「算数の問題を諦めずにいろいろな方法で考える」「課題の解決に向けて自分で考えて取り組む」など、自ら課題の解決に向かおうとする児童が比較的多い。 ●家庭学習に1時間以上取り組む児童の割合が低く、予習・復習への意識も低い。また、読書への関心にも課題がある。	・家庭学習では、ドリル学習等の基礎学習だけでなく、次時の学習に生かせる内容や調べたり読書したりする活動を伴うものといった内容を工夫し、課題に挑戦・追求しようとする習慣が身につくようにする。 ・各教科の学習で積極的に図書館を活用するとともに、家庭での読書習慣が身につくように指導を工夫する。

(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・授業や生活の中で、思いや考えを伝え合ったり自己有用感を高め合ったりする場を多く作り、自他を大切に育んでいく。  
・児童の言葉の力を確かなものにしていくため、言語環境を整えるとともに、読書活動の充実と授業改善を進め、「話す・聞く力」の向上を目指す。

(3) 意識調査（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています）



【参考】

○平均正答率

		本校	松江市	島根県	全国
国語	A	70	70	68	70.7
	B	54	57	55	54.7
算数	A	64	62	61	63.5
	B	49	50	49	51.5
理科		59	59	58	60.3

受検者数 76人  
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。